



桜井市議会議員 やすおき つちや靖起 土家

活動報告
第68号

連絡先 633-0064 桜井市戒重57 電話・FAX 0744・43・9288
https://tsuchiayasuoki.com

市民会館
休館のまま

手つかず状態を指摘

耐震補強困難なら解体も提案

桜井市議会の土家靖起は、市議会9月定例会の議案審議の中で、老朽化により耐震性がなく一時休館の措置が取られている市民会館について、整備計画が先送りされたまま事業が前に進んでいないと指摘しました。また耐震化や長寿命化が難しいのであれば、国の有利な起債を活用して解体・更地にして時代に合った施設の建設を目指すべきと提言しました。市は解体費用の算出をしておらず、手つかずのままの状態が続いています。

土家

昭和56年に完成し、桜井市の芸術や文化の殿堂、拠点として市民に愛され育まれてきたが、令和2年から令和3年にかけて行われた耐震診断では、倒壊、崩壊する可能性が高いとの結果になり、やむなく一時休館の措置が取られている。

しかしながら、あれだけ多くの人に利用され、賑わった市民会館が、新庁舎の完成とともに北側の壁がむき出しになり、本当にさみしそうな感じを受け、市民の方々からもそのような声が上がっている。耐震補強も含めて、将来的な市民会

桜井市民会館および中央公民館の在り方検討プロジェクトチーム

これまでの検討内容

- 1回目 両施設の基本方針について検討。市民会館を令和3年4月から休館、中央公民館の開館継続を決定。
- 2回目 中央公民館の貸館業務や利用者状況の報告、地震対応マニュアルの検討
- 3回目 市民会館の施設予約者に対する利用料金の返金状況の報告、国補助金の活用の検討
- 4回目 国の補助金活用の検討。市民会館にあるスタインウェイ社のピアノの状況確認



館の在り方を引き続きプロジェクトチームで検討をしていくとなっているが、その回数や検討内容について教育長に聞きたい。

教育長

市民会館の在り方検討プロジェクトチームについては、令和2年度に実施した耐震診断結果を踏まえて、施設の今後の対応方策などを検討する目的で設置している。令和3年の2月に1回目を実施した後、これまで計4回開催している。表参照。

今年度は中央公民館の耐震手法などについて検討し、5回目の開催をする予定である。

土家

旧庁舎の取り壊しに約2億5000万円の費用がかかった。仮に市民会館を取り壊した場合、どれほどの費用が想定されるのか。また耐震化、長寿命化は本当に可能なのか、事務局長に聞きたい。

教育委員会事務局

耐震化、長

寿命化は、多額の費用が想定され、また耐用年数の関係からも難しいと考えられる。取り壊しの費用については、算定に至っていない。

土家

市民会館への経費は年間いくらくらいかかっているのか。

教育委員会事務局

駆体

が市民会館と中央公民館とが一緒になっているため、市民会館のみの経費を算出するのは困難で、双方の経常経費として、光熱費、通信費、委託料など計1560万円になっている。(裏面へ続く)

つちや靖起 市政報告会開催



土家が今期に取り組んできた議会活動を皆さまにご報告させていただきます。たくさんの市民の皆さまのご参加をお待ちしています。

時間 令和4年11月26日(土) 午後2時から (受付:午後1時30分から)

場所 幸玉会館 桜井市戒重209-34

※駐車場はございません。ご協力をお願いいたします。



芸術・文化の拠点復活に向け

市民会館整備、一日も早い着手求める

(裏面から続く)

土家

プロジェクト会議では、主に中央公民館について議論されているように感じ、市民会館がおざなりになっているのではないかと。現時点では中央公民館を優先し、市民会館はめどが立っていない。このまま放置をすれば、あまりにも見映えが悪い。

耐震化や長寿命化は断念せざるを得ないという説明だが、現時点で最善の方法としては、規模を小さくして新たに建て替える方が耐用年数の問題も含めて効果的ではないか。

平成28年、29年には環境部の旧焼却場の取り壊し問題があった。この時は国の除却債（老朽化や合併・統合などで不要になった地方自治体の施設の解体撤去費を地方債で賄うことを認める除却のための特例債）の活用を提案した。費用の90%をこれ



プロジェクト会議では中央公民館が優先され、現時点で市民会館のめどが立っていない

で賄い、10年間で償還していくことになった。

ではないか。

市長

まずは中央公民館の耐震化と長寿命化を図った上で、市民会館については、プ

物価高騰へ迅速な支援を

市に追加支援の考えただす

市議会9月定例会ではこの他、さまざまな商品の物価高騰に伴う市民や事業者への支援事業の執行事業を質問し、素早い支援の行き届きと、国や地域経済の動向を見ながら追加支援の考えがあるか、ただしました。

土家

物価高騰を受けた今年度の市民の生活支援、事業者支援の執行状況や見込みについて、聞きたい。

市長公室長

交通事業者経営支援事業については、桜井駅北口広場を継続使用しているバス、タクシー事業者に対し許可している車両の台数に応じて補助金を交付した。▼奈良交通14台108万円▼桜井交通18台24万円▼近鉄タクシー8台24万円▼日の丸交通29台87万円▼天理タクシー12台6万円を執行した。

福祉保健部長

住民税が課税されているものの、扶養親族等のみからなる世

プロジェクトの中でご提案いただいたことも踏まえ検討していきたい。

土家

4年から8年の中長期財政計画の中に市民会館の計画が入っていない。すなわち、見込まれていない。このままでは事業が進んでいかない。文化や芸術の火を消さないよう、一日も早く市民会館を取り戻してもらいたい。



市は物価高騰に伴い、市民や事業者などに対してさまざまな支援事業を展開。今後も追加の支援を検討している

帯が、国の臨時特別給付金の対象にならないことから、市独自の施策として、対象から外れた非課税世帯に対して1世帯3万円を給付する。国が給付金の申請期限を11月末に延長したため、事業はまだ行われていないが、国の受給者確定後、ただちに開始したい。

まちづくり部長

事業継承引継補助金は、国の補助金に乗せ補助を行うもの。予算としては5件分を計上しており、このうち2件を執行した。

小規模事業者持続化補助金も国の補助金に乗せを行う。市の予算では50件を計上、これまでに12件の申請を受け付け、概ね50件全てを執行する見込み。

小規模事業者IT支援化事業は、

49事業者から申請があり、当初予算



日本芸能発祥の地として 恥ずかしくない市民会館活用を



市議会9月定例会で土家は、整備計画が先送りされ事業が進んでいない状況の市民会館について指摘させていただきました。さらに旧焼却場解体の際の事例を挙げた上で、目指すべき方向性について提言いたしました。

倒壊、崩壊する可能性が高いことから一時休館を余儀なくされた市民会館について、土家はこれまで再三にわたり、今後の施設の在り方や、再開のめどについて市の考えをただしてきました。

日本の芸能発祥地として顕彰された「土舞台」が今年で50周年を迎えます。市の芸術・文化の拠点として活用されてきました市民会館がこのような状況になっていることは、日本芸能の発祥地として恥ずかしい限りです。

(土家靖起後援会会長・勾田義浩)

の児童生徒の増加も予想されるため、その際は補正予算による対応をしたい。

給食費の保護者負担軽減については10月分を対象としていたが、10月から12月分の3カ月分を無償化する。

上下水道部長

基本料金の1カ月減額については、12月か1月の検針時に使用のお知らせで案内する予定。

土家

少しでも支援が早く行き届くように事業執行をお願いする。またこれだけでは支援が足りない、少ないと感じている市民も多い。市民生活を支える何か追加の支援策を考えているか、どうか市長に聞きたい。

市長

国の補正予算や事業メニューに留意し、地域経済の状況を見定めながら、物価高騰対応のための追加の市民生活・事業者支援への活用を今後も検討していきたい。

教育委員会事務局長

準要保の就学支援援助については、406万円を執行、今後は対象となる児童生徒の転入や所得の減少による対象

「あいさつなどは議員活動を優先させて頂きますため、略させて頂きますが、市民の皆さまにはご了承の程、よろしくお願い申し上げます。」



つちや靖起

現職
桜井市議会議員
桜井市ソフトボール協会顧問
戒重区顧問
桜井西地区社会福祉協議会会長
NPO法人ひかりの森理事
奈良県市町村職員年金者連盟桜井支部長
市政に対する要望・ご意見・ご提言をお寄せ下さい。

主な経歴
桜井市市長公室長
平成15年桜井市議選初選
平成19年桜井市議選2選
平成23年桜井市議選3選
平成24年桜井市議選議長
平成27年桜井市議選4選
平成31年桜井市議選5選

<https://tsuchiayasuoki.com>

633-0064 桜井市戒重57 電話・FAX 0744-43-9288